

特 集 「編集委員今年の抱負 2013」

「当たり前」の不便」の解消



鈴木 優 株式会社東芝研究開発センター

昨年夏に運転免許を更新しました。優良運転者という名前のペーパードライバーなので 5 年ぶりの更新です。免許をお持ちの方はご存知のように、優良運転者であっても免許更新時には 30 分間の講習を受けなければなりません。その講習で「自動車のバックミラーには映らない死角があるので必ず目視で確認しましょう」という内容のビデオを見ました。車線変更の際に斜め後方から来るバイクを巻き込んでしまう事故が多いそうです。そういえば 20 年以上前にも自動車教習所で同じようなビデオを見たことを思い出しました。停車している自動車の運転席からミラーを見ると何も映っていないのに、上空から見ると自動車の周りに何十人もの子供達が座っていた、という映像にショックを受けたことを覚えています。一方、今回は講習を受けながら違う意味のショックを受けました。「バックミラーに死角がある」という人命に関わる機能的欠陥が 20 年以上経っても (T 型フォードの時代から数えると 100 年以上も) 放置されているのです。もちろん、電子式バックミラーなどを駆使すれば死角のないバックミラーをつくることはさほど難しくはないでしょう。技術ではなくコストや法律の問題かもしれません。それでも「バックミラーには死角がある」ことが世の中の「当たり前」になってしまっていることがショックでした。

そんなことを考えていたとき、「ザ・ダイヤモンド [Slywotzky 12]」というビジネス書に次のような記述を見つけました。「いつの日か、アメリカだけで年間四万人に上る自動車事故による死者を甘んじて受け入れていた無情で非人道的な文明に、ドライバーたちが驚愕し戦慄する時代が訪れるだろう。」まさに私が感じていた問題意識そのものです。自動車の自動運転は人工知能分野の典型的な応用の一つだと思います。Google の取組み [Google] が話題になり、米国で自動運転による自動車の試験走行が認可される [CNN] など社会の受入れ体制も整いつつあるようです。交通事故を起こさない自動車こそが「当たり前」になる時代が来てほしいと思います。

ところで自動運転の例に限らず、人工知能の分野にはさまざまな「当たり前」の不便」を解消することのできる技術がたくさんありそうです。ただ一方で「当たり前

の不便」が当たり前すぎて、研究者の視点ではそこに不便があることに気づけていないことも多いかもしれません。そんなとき、先ほどのビジネス書のように研究者が普段あまり読まないような書籍を読んでみたり、自分達とは違った特性をもった人々を観察してみたりするのもよいのではと思います。そういう観点でも、昨年 9 月号から人工知能学会誌で連載が始まった SF ショートショートとはとても良い企画だと思います。例えば連載第一作目として掲載された松崎有理氏の「十姉妹であるとはどういうことか」[松崎 12] は「無償で相互に論文を査読する」という研究者の当たり前への問題提起とも読めます。また 11 月号に掲載された太田忠司氏の「タクと過ごした半年間と」[太田 12] を読んで、ロボットが傍らにいたことが当たり前になった世代の子供達にとって自然なユーザインタフェースはどうあるべきか、と考えさせられました。我が家の子供達はスマートフォンやタブレット PC のタッチ UI が当たりの世代です。彼らを観察していると、よくデザインされたタッチ UI であれば何も教えなくても使いこなせています。一方で彼らにマウスをもたせてみてもなかなかうまく操作できません。私達大人は間接操作 UI の当たりの不便に慣れてしまっているのだと感じます。

2013 年、私は人工知能分野の研究者として「当たりの不便」の解消に取り組むたいと考えています。「父さんの頃って英語が話せるようになるのに何年もかかったの!?', 「インターネット検索って何のこと?」など、子供達が大人になる頃には何が新しい「当たり前」になるだろうと想像しながら、新しい研究テーマを模索していきたいと思います。

参 考 文 献

- [CNN] <http://www.cnn.co.jp/tech/35022282.html>
 [Google] <http://googleblog.blogspot.jp/2010/10/what-were-driving-at.html>
 [松崎 12] 松崎有理: 十姉妹であるとはどういうことか, 人工知能学会誌, Vol. 27, No. 5, pp. 528-529 (2012)
 [太田 12] 太田忠司: タクと過ごした半年間と, 人工知能学会誌, Vol. 27, No. 6, pp. 680-682 (2012)
 [Slywotzky 12] Slywotzky, A. J. 著, 佐藤徳之 監訳: ザ・ダイヤモンド, 日本経済新聞出版社 (2012)